

広報

まちづくり情報誌

小田原

city of odawara public relations

4 2007
APR
/1日号

小	い	や	
田	い	っ	
原	ね	ぱ	
の		り	
桜			



市立病院の 診療体制が 変わります

内科と耳鼻いんこう科は紹介状が必要です



おだわらいふ3月15日号でもお知らせしましたが、
今、全国的に医師不足が大きな社会問題となっています。

皆さんの暮らしを医療面から支えるため、
さまざまな取り組みをしている市立病院もその例に漏れません。
4月からはどのように変わるのでしょうか。

☎経営管理課 ☎34-3175



初診の診療が変わります

全国的な医師不足の中、これまで市長や病院長などが県内外の大学を訪れることで、医師の確保にも一定のめどが付きましたが、一部の診療科では、現在のところも医師の数が十分ではありません。

そこで4月から、内科のうち呼吸器科、消化器科、循環器科では過去1年以内、耳鼻いんこう科では過去3か月以内に受診歴がない場合は初診として、受診には開業医などからの紹介状が必要となります。

また、糖尿病内分泌科は受診者が多いため、紹介状のほかにあらかじめかかりつけ医から当院の担当医への相談が必要です。

さらに、リハビリテーション科は常勤の医師が不在となるため、患者の皆さんのご希望を伺いながら、地域の医療機関などに紹介しています。現在診療中の小児患者や補装具利用のかたは週2回、臨時の医師が引き続き診察します。

そのほか、腎内科、神経内科、心身医療科については、常勤医が不在のため引き続き初診のかたの受け入れを行いません。

なお、休日夜間の時間外診療では、特に内科の医師が不足しているため、火、木曜日の夜間と、土、日曜日など休診日の昼間は、



↑新生児室



↑小児科

内科初診のかたの診療を行いますので、ご了承ください。

なぜ、全国的に 医師不足なの

最近、新聞やテレビなどで、「医師不足」という言葉を多く見かけます。特に、産婦人科や小児科でその傾向が目立っています。

医師になるためには大学を卒業し、医師国家試験に合格した後、研修医として病院に勤務し、研修を受けながら内科や外科といった専門分野を選び、一人前の医師になります。大学の医学部を卒業する学生は毎年いるので、医師そのものの数は少しずつ増えています。

しかし、現実には医師が不足しているのは、まず、小児科や産婦人科は勤務条件などが厳しいので医学生に敬遠され、その分野の医師の数が減っていること。そして、大学病院ではなく東京など大都市にある病院での研修を選択することで、大学病院の医師が減り、この影響から地方へ派遣されている医師が呼び戻されていることが大きな原因です。

市立病院にも影響が

この流れは市立病院にも影響を与えています。そのため、診療体制の変更を余儀なくされて

小田原市立病院 外来診療科一覧

平成19年4月1日現在

診療科	初診	備考
内科	呼吸器科	過去1年以内に受診がない場合、紹介状が必要
	消化器科	
	循環器科	
	糖尿病	上記（紹介状）のほかに、紹介医からの事前相談が必要
	内分泌科	
	腎内科	× 休診中
	神経内科	× 継続診療のかたのみ
心身医療科	×	継続診療のかたのみ
小児科	○	
外科	○	
心臓血管外科	*	完全予約制
呼吸器外科	*	他科・他院から紹介のかたのみ
整形外科	○	
形成外科	○	
脳神経外科	○	
皮膚科	○	
泌尿器科	○	
産婦人科	○	
眼科	○	
耳鼻いんこう科	紹	過去3か月以内に受診がない場合、紹介状が必要
リハビリテーション科	×	継続診療で小児、補装具利用のかたのみ
放射線科	*	他科からの依頼、他院から紹介のかたのみ
麻酔科	*	手術前の診療のみ
救命救急科	○	救急車で来院のかたのみ
検診科	○	事前窓口予約が便利。 当日受付は、1日の受診人数に限られます。

○…直接来院された初診のかたも受診できます

紹…初診のかたは紹介状が必要です

×…現在初診のかたを受け付けていません

*…直接来院された初診のかたが、通常受診されることがない科です

注：医師の異動などにより、変更になる場合があります。

新しく、膠原病の外来も週1回開きます。詳しくはお問い合わせを。

しまいました。

そのような中、安心して生み育てられる環境を守ることが、皆さんの安心感を強く

すると考え、出産や子育てなど、全国的に医師の確保が厳しいといわれている産婦人科と小児科に力を入れています。

特に医師不足が心配される産婦人科では、近隣の病院などの休診により、出産件数が増えています。

分べんを安全に取り扱える件数には限り



ありますが、これまでの体制を何とか維持し、できる限り、出産の受け入れをしています。

また小児科では、医師を2人増員できましたので、余裕を持った診療が可能となります。子どものいる家庭で、急な病気への安心感はずすはらずです。

外科、整形外科、形成外科もそれぞれ1人ずつ増員するほか、手術などに不可欠な麻酔科医も現体制を維持できました。

さらに、新たに救命救急科を設け、救命救急医を1人確保し、これまで週1回だった救急外来は、月曜日から金曜日まで常勤の医師が救急の来院に備えます。また、膠原病（リウマチ疾患など）の専門外来を始めます。

がん対策も重点的に

それぞれ個別の病気への診療に力を入れるのは当然ですが、市立病院では同じくらい、がん対策にも力を入れています。

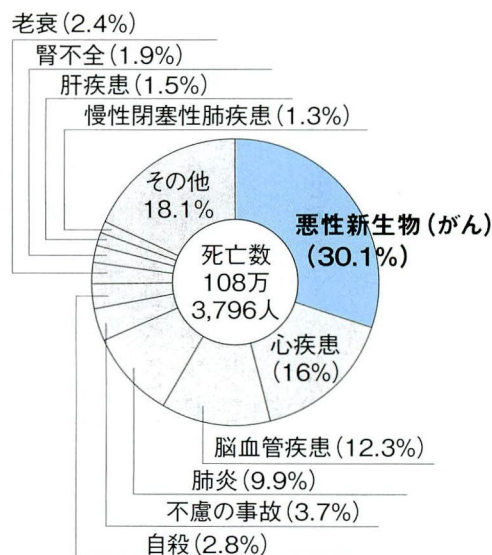
医療の進歩に合わせ、がんの診断や治療の方法も格段に進歩しつつありますが、いまだに日本人の死因のトップを占めているからです。

しかし、がんは早期に発見し、治療を進めれば、今や治る病気なのです。そこで、従来の機器に比べ、より小さいがんの発見が期待できる最新の検査機器である「陽電子断層撮影装置（PET/CT）」を昨年初めに導入し、4月からがん検診を始めました。



↑陽電子断層撮影装置（PET/CT）

【平成17年 全国の人口動態統計(抜粋)】



医療の質も検証

また、医師、看護師などのチームにより、患者のがんの痛みや不安を軽減するための緩和ケア医療を行ったり、患者や家族から、診療や在宅生活の支援についての相談を受けたりしています。

新たな取り組みを進めても、医療の質が低下しては意味がありません。

そこで、医療の質を客観的に確認するため、医療機関の機能を中立的な立場で評価し、問題を

点の改善を支援する第三者機関である日本医療機能評価機構の「病院機能評価」を受審しました。審査の結果、市立病院の提供している医療が安心で質の高いものであると評価され、平成17年度に認定病院と認められました。外部の厳しい目からも質の高い医療サービスが提供されていると裏づけられたのです。

このように、さまざまな取り組みをしています。診療を行う医師が不足してはどうにもなりません。

昨年に引き続き、診療体制に制限がかかりご迷惑をお掛けしますが、皆さんに安全で安心の医療をお届けするため、今後も診療体制の回復に向けて努力していきますので、ご協力をお願いします。

かかりつけ医を持ちましょう



この機会に、身近に相談できる、お近くの「かかりつけ医」をぜひ持ちましょう。健康カレンダーや小田原医師会のホームページをご覧になるか、医師会地域医療連携室（☎47-0833）や地域医療相談室をご利用ください。

小田原医師会ホームページ
<http://www.odawara.kanagawa.med.or.jp/>

病院長 中島 麓さん



皆さんもご協力を

市立病院は、安定した医療の質を維持するため、大学病院に医師の派遣をお願いしていますが、そこにも中堅の医師が少なく、難しい状態にあります。そのため、診療体制を變更せざるを得なくなっていました。医師の確保には、この病院で研修を受けた医師がそのまま働いてくれることが理想です。

幸いにも研修機関としても高い評価を受けているので、今後、積極的に研修医を受け入れます。

また、医師や看護師などが気持ちよく働き続けられるよう、常に考えています。

市民の皆さんには大変申し訳ないのですが、まちづくりを協働で行うように、この機会に市立病院の役割を、そしてこの病院をもっと育てることを考えていただければと思います。

平成18年度

3月補正予算の概要

問 財政課 ☎ 331312

補正予算の概要

■一般会計補正予算

(8億6,748万6千円追加)

■競輪事業特別会計補正予算

(865万8千円追加)

■天守閣事業特別会計

(73万円追加)

■下水道事業特別会計

(2億3,913万6千円追加)

■国民健康保険事業特別会計

(4億2,375万3千円追加)

■国民健康保険診療施設事業特別会計

(200万円追加)

■公設地方卸売市場事業特別会計

(177万2千円追加)

■老人保健医療事業特別会計

(7,931万4千円追加)

■介護保険事業特別会計

(1億1,604万5千円減額)

■宿泊等施設事業特別会計

(1,027万9千円追加)

この結果、全会計の予算額は、1,442億2,733万7千円となりました。

補正予算の主な内容は、次のとおりです。

●職員給与費の増額

普通退職者の増による退職手当を計上するとともに、職員の異動などにより不足を生じる各費目の職員給与費を増額しました。

●高齢者・重度障害者・小児医療助成費の増額

不足が見込まれる高齢者などの医療助成費を増額しました。

●生活保護扶助費の増額

不足が見込まれる生活保護扶助費を増額しました。

●江之浦漁港災害復旧事業費の計上

強風と波浪により被害を受けた江之浦漁港の災害復旧事業費を計上しました。

●財政調整基金繰入金の減額

平成18年度の決算見込みなどから財政調整基金の取り崩しを取りやめました。

また、「寄附者一覧」のとおりご寄附をいただきましたので、そのご意思を生かせるように、各基金に積み立てるとともに、事業費を計上しました。

【寄附者一覧】(敬称略)

▼ふるさと文化基金寄附金

(合計84万6,201円)

- ▽小田原セレモニーホール協力会
- ▽小田原経営研究会(賢人会)
- ▽さる菊園 鈴木三郎
- ▽ダンスサークルマーガレット

▼防災対策基金寄附金

(合計56万2,149円)

- ▽小田原市消防器普及会
- ▽小田原交通安全協会取扱分
- ▽横浜銀行取扱分
- ▽スルガ銀行取扱分
- ▽静岡銀行取扱分
- ▽静岡中央銀行取扱分
- ▽中央三井信託銀行取扱分
- ▽さがみ信用金庫取扱分
- ▽小田原第一信用組合取扱分

▼社会福祉基金寄附金

(合計43万4,736円)

- ▽米田英行
- ▽相洋福島県人会
- ▽小田原盆栽愛好会
- ▽北村俊一

▼財小原流小田原支部

- ▽本門仏立宗法正寺
- ▽(有)丸専 酒井商店

▼全印刷局労働組合小田原支部

- ▽小田原ガスシヨールーム エコリア
- ▽斉藤喜美男
- ▽匿名2件

▼ふるさとみどり基金寄附金

(合計2万8,290円)

- ▽村上祐司
- ▽コミュニケーション倶楽部

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/



市ホームページ上の「スッキリ解決! よくある質問と回答」ボタンをクリック。

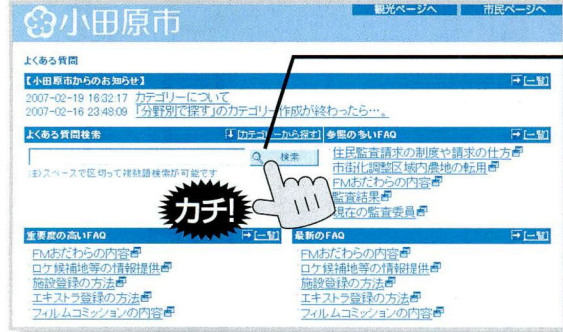
4月16日(月)から
スタート

疑問がスッキリ解決!
よくある質問と回答

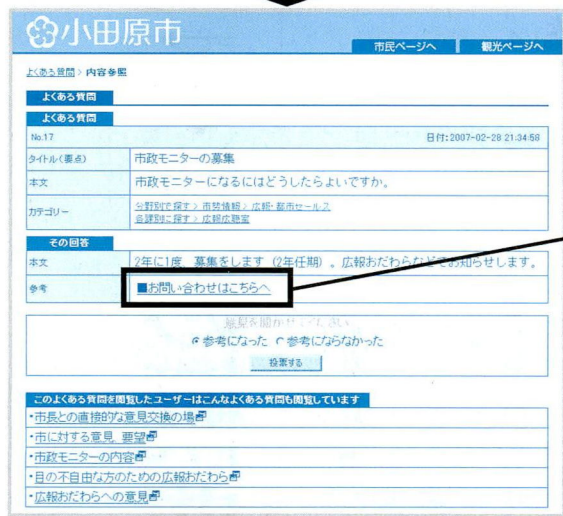
昨年の全国広報コンクールで入選するなど、評価を受けている市のホームページ。さらに、早く・分かりやすく、情報が探せるよう、「よくある質問と回答」コーナーを作り、パワーアップしました。市に多く寄せられる質問や問い合わせとその回答を集めているので、あなたの疑問がスッキリ解決すること間違いなしです。

問 広報広聴室 33 1 2 6 3

http://faq.city.odawara.kanagawa.jp/



知りたい情報をクリック。検索もできます。<例>「市政モニター募集」について検索。



問い合わせの場合は「お問い合わせボタン」をクリックして、投稿フォームへ。

※当サイトは、送信する情報が傍受・妨害されることを防ぐ、暗号技術 (SSL) により安全性が確保されています。

もっと便利に! 市のホームページ

検索方法が充実!

使い方はとっても簡単。市ホームページ上の「よくある質問と回答」ボタンをクリック。

知りたい情報をキーワードで検索したり、住民登録の方法や子育て情報などを分類した「分野別で探す」、人生の大きな出来事を分類した「ライフイベントで探す」、「各課別で探す」の各分類から検索したりできるほか、「参照の多いよくある質問」「最新のよくある質問」など、いくつもの入り口から欲しい情報にたどり着くことができます。

質問と回答のページは、一問一答形式で、分かりやすく紹介しています。また、ページの最後には、回答が参考になったかどうか、二者択一のアンケートがあります。

問い合わせもできます

アンケート機能を設けましたので、ぜひ投稿してみてください。回答のさらなる充実に役立てます。

【便利です、メールマガジン】

市のメールマガジンは6誌あり、すでに延べ1万人のかが利用しています。環境情報や安全安心情報など、最新の情報を手にできます。お申し込みは、市ホームページやメールで。メールの場合、email@mmz.city.odawara.kanagawa.jp へ空メールをお送りください。登録のためのメールを返送します。

<配信中のメールマガジン>

- おだわら表情いいメール(毎月2回発行)
- 市長のほんねトーク(週に1回発行)
- ママパパ子育て知恵袋メール(月に1回発行)
- 防災メール(必要に応じて随時発行)
- おだわら環境メールニュース(必要に応じて随時発行)
- おだわら安心・安全メール(必要に応じて随時発行)

「回答を見たけど分からなかった」「こんなことも聞いてみたい」という人には、ページ内にお問い合わせ窓口を開設しました。「お問い合わせ」ボタンをクリックすると、投稿フォームへとリンクします。質問の内容やメールアドレスを入力して、送信してください。後日、市からメールで回答します(内容によって、回答に時間がかかる場合もあります)。「市役所に聞きたいことがあるけど、忙しくて時間が無い」「市政情報やイベント情報などを調べたい」というかたは、まずのぞいてみてください。知りたい情報がきっと見つかりますよ。

愛称は「けやき」

広報「おだわらいふ」1月15日号で募集した「生涯学習センター本館の愛称」に、たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。愛称は、選考の結果、「けやき」となりました。

なお、採用作品の応募者の中から、藤村真司さん(酒匂)に、また、応募者全員から、3人のかたに、それぞれ抽選により記念品をお送りします。



「けやき」が開館！ ～中央公民館は生涯学習センターに～

「いつでも、どこでも、だれでも」生き生きと学習することができ、
学んだ成果を地域社会で生かすことができる生涯学習社会を築くため、
生涯学習活動の総合拠点として、
4月1日から、中央公民館などは新たに生涯学習センターとして生まれ変わります。

☎生涯学習センターけやき ☎35-5300

近年、市民の皆さんの学習活動の意識の高まりとともに、公民館への要望も多様化、高度化してきました。

そこで、これらの要望に円滑に対応できるように、公民館に新たな機能を加え、生涯学習センターとして開設しました。

従来の中央公民館を本館として、国府津公民館はセンター・国府津学習館に、各地区の分館はセンター分館に変わります。

生涯学習センターでは、まち全体をキャンパスとした市民の皆さんの学習・文化活動を総合的に支援し、学習を通じて市民のかたがたの交流を促します。そして、地域社会を支える小田原の人づくりを進めます。

また、①生涯学習施設、講座・イベント、学習サークルなどの学習情報の収集と提供、②学習相談・市民の皆さんの自主的な学習の支援、③ほかの施設・機関とのネットワーク化、④「小田原学講座」などセンター事業の開設、⑤地区公民館活動の支援などを一層強化・充実していきます。

公民館と何が変わるの？

- 本館に学習情報提供や学習相談を行う窓口を設置しました。
- 本館ホールは、1年前から施設予約ができるようになりました。
- 営利目的の物品販売はできませんが、社会教育事業または公共性の高い事業などに伴う販売などはできるようになりました。
- 生涯学習ボランティアと協働・連携し、まち全体に講座などの事業を展開します。

お知らせ

4月1日から
組織・機構の一部が
変わります



☎企画政策課 ☎33-1253

組織の簡素・効率化や生涯学習センターの開設のため、担当の統廃合をします。

【広域交流拠点整備課】

管理調整担当、計画担当

整備推進担当

【生涯学習政策課】

生涯学習政策担当、事業推進担当、公民館担当

学習政策担当、生涯学習センター担当

【図書館】

図書担当、視聴覚担当

サービス担当

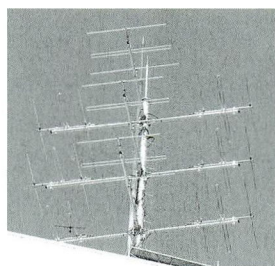
いざというときにも安心

防災情報は 「FMおだわら78.7MHz」で



いまさらと思うかもしれませんが、情報はとても重要なもの。それが災害などの緊急時ならなおさらです。市では、いざというときの情報を防災行政用無線などで提供しています。雨や風の音はもちろん、最近では

情報は重要



災害時など、何かあったときにはどうやって情報を得ればいいのか。それが一番難しいところです。市では、市からの情報発信を強化するため、新たに開局したFMおだわらとも協定を結んでいます。

☎防災対策課 ☎33-1855
☎広報広聴室 ☎33-1261

遮音がしっかりとした住宅が増えたり、車の音など無線の音よりも大きな音が増えたりしたこと、さらには反響音などで、聞こえにくいという声も聞かれます。しかし、正確で素早い情報の提供は、災害時には最も重要なこと。情報が全くなかったり、間違った情報が伝わればパニックになったりしてしまいうからです。実際に大地震などを体験したかたの話を聞くと、必ずそういった話が出ることから情報の重要性は裏づけられているのです。

過去の教訓から

市でも、平成17年4月に水道送水管の破損による断水事故、同年8月には台風11号の影響で河川が増水し、山王川周辺地域への避難勧告が出るといったことがありました。

しかし、これらの際に、市民から市へ「情報があまり伝わらなかった」という苦情が多数寄せられました。

そのため、自治会や商工会議所などのかたをメンバーとする「緊急災害時における情報発信研究会」を設置し、災害など緊急時の情報伝達をどうすべきかを研究しました。

そこでラジオ

現時点で、災害などの場合に、市から情報を伝える主な手段は、防災行政

市長随想

おかめ桜

文 小澤良明

お雛祭りの日、片浦の「おかめ桜まつり」を訪れた。山の傾斜のそこかしこに緋桃色とでも云うべきか、おかめ桜が可憐な花を咲かせていて、まさに三月三日のお節句にぴったりの雰囲気を醸し出していた。甘い花蜜に誘われて目白達が賑やかに飛び交い、束の間、山里の桃源郷に迷い込んだような錯覚にとらわれた。

十数年前、新たな夢への挑戦に目をキラキラ輝かせ、トットと語る農家の青年がいた。今の「きのこ苑お山のたいしょう」のKさん、「離れのやど星ヶ山」のUさんである。農家にとって最も苦手の筈の客商売に進んで身を投ずるといふ話に、その意気や良し、と感銘を受けながらも「本当に大丈夫かな？」と危惧を覚えたのは私だけでなかったろう。それから何かの時に訪問しては、懸命にご商売に取り組んでいられる姿に、山ほのご苦労はあっても口にされないのだろう、「たいしたものだ」と私自身の不明を恥じてもいた。ひとと落ち着きした彼等は、素晴らしい根府川の風光に、何か新しい彩りをといることで早咲きで花色の濃い「おかめ桜」に目をつけた。園内に少しずつ増やしていった、今では遠来の花

防災講演会を開催

1月28日、連合赤軍あさま山荘事件などの事件処理を指揮した佐々淳行さんを中央公民館に招き、「これからの危機管理」を題に講演会を行いました。

佐々さんからは、「危機管理は自分で自分を助ける自助、お互いに助け合う互助、公の助けである公助の組み合わせだが、大きな災害のときには最初の72時間は公の助けは来ないと考え自助が重要。まず自分で自分の身を守る」といった心構えや「避難時に足をガラスから守るスニーカーを枕元に用意する。通電再開後の火災防止のためブレーカーを下ろし、できれば負傷者救助のために車のジャッキをもって逃げる。災害時は決して自動車で避難しない。万一自動車を路上に放置する場合は必ずかぎをつけたままにして移動できるようにする」といった具体的な避難方法、さらには「災害時にはトイレの問題が深刻なので、ふだんから個人で介護用の簡易トイレを備えておく。パニック防止のためにも懐中電灯が役に立つので常に身の周りに」など個人ができる具体的な危機管理の話がありました。



用無線、広報車、ホームページ、ケーブルテレビ、防災メールですが、それぞれに長所や短所があります。安定した情報提供ができると考えられている防災行政用無線は、先に述べたような問題をすべて解消することはできませんし、ホームページやケーブルテレビは停電してしまえば使えません。防災メールも携帯電話のメールが増えることにより使用が制限されることも予想されます。このように、現状を分析し、研究した結果、最終的にた

どりついたのが「ラジオ」でした。ラジオは車でも聞けるし、携帯用や懐中電灯についているなど種類も多く、電池式もあるので停電時でも使えるからです。また、新潟県中越地震では、地元のコミュニティFMが発災直後から、開設された避難所やライフラインの情報を即時に提供し、その後も安否確認情報などきめ細かい情報を放送して、被災者を力づけました。

市内の企業や団体などの協力により先月末に開局した「FMおだわら」は市内を放送区域とし、地域情報の提供に特化したコミュニティ放送局です。ふだんは街の情報を放送し、いざというときには地元にある強みを生かし、避難所情報など細かい情報まで正確に素早く発信します。何かあったときには周波数78・7MHzの「FMおだわら」で最新情報を得るようにしましょう。



見客までお迎えできるようなった。片浦全体を「おかめ桜の里」にしようという地域の皆さんの盛り上がりまでできて計画的に植栽が進められている。



「おかめ桜」は日本文化に深い理解を持ち、日本をこよなく愛した英国人C・イングラムにより寒緋桜と豆桜を交配し誕生した。染井吉野のように「繚乱」という趣きではないが、まさに清楚、お雛祭りの桜、ふっくらとした「おかめ」の印象である。ひと花、ひと花をじっくりと見て欲しい。一見に値する。

Kさん、Uさんのあくなき努力がおかめ桜で花と咲き、今ではご両家とも後継者も立派に育っていられる。当初不安も大きく決断も厳しかった。それだけに息子や娘が共に苦労を分かちあってくれる、若い未来を賭けてくれる、親としてたとえようもない喜びであろう。

この若い人達の時代には、早春、片浦丘陵一帯が「おかめ桜」の緋桃色に華やかに包まれ、大勢のお客様をお迎えできるだろう、私がかねてより想う城下町小田原の「桜物語」の初めのページを飾る花名所となるだろう、そんな楽しい夢をみた。

行革レポート

市民が選ぶ予算の使い道

～平成19年度の対象事業が決まりました～

行政経営室 331304

「市民が選ぶ予算の使い道」制度は、市民の皆さんの声を直接予算に反映させるため、アンケート調査によって選ばれた事業分野に約1億円（市民税の約1%相当額）の予算を重点的に配分する制度です。

昨年8月に実施したアンケート調査で、約3,000人のかたに、どの事業分野に予算を重点配分すべきかお尋ねし、1,600人近くのかたから回答をいただきました。今年度は、このアンケートの回答割合に応じて、総額1億円を左表の

事業に重点配分します。この財源は、ヒルトン小田原(株)からの施設貸付収入の一部を活用しています。今後も、市民の皆さんの声を市の施策や事業に反映させ、皆さんとともにまちづくりを進めます。

事業分野	事業の内容
高齢者福祉の充実	高齢者施設ルネッサンス事業 社会福祉センターの入浴施設を改修、生涯学習センター豊川分館のトイレを改修
	高齢者居宅火災報知器設置費補助事業 高齢者のみの非課税世帯を対象に火災報知器の設置費を一部補助
障害者福祉の充実	障害者地域生活支援事業などの利用者負担軽減事業 障害者の移動支援事業などの利用者負担率を引き下げ、児童デイサービス事業所などでの食費負担額を一部助成（いずれも平成20年度まで）
	障害者福祉情報提供事業 障害者福祉制度を説明した冊子を作成・配布
高齢者福祉の充実・障害者福祉の充実	バリアフリー化推進事業 利用者が多い街区公園出入口の段差解消とベンチ設置、フラワーガーデン「溪流の梅林」出入口の拡張、城址公園北入口通路の路面改修と手すり設置
市立病院の運営	患者サービス改革事業 温水洗浄式洋式トイレへの改修、外来患者など受付カウンターへ受付順発券機を設置
防犯対策の充実	灯の明るいまちづくり活動事業 防犯灯をより明るいインバータ方式へ切り替えるための費用を補助
防災対策の推進	災害・防災情報提供事業 防災無線の子局用スピーカーを増設、防災マップ作成、防災情報を掲載した回覧板作成・配布
	仮設災害対策本部用資機材整備事業 仮設災害対策本部用の資機材や衛星電話などを整備、収納倉庫を設置
	合同津波訓練開催事業 近隣自治体との合同による広域津波訓練を実施
子育て支援策の充実	(仮称) 橘「子育て支援センター」備品整備事業 (仮称) 橘地域センターに開設する子育て支援センターに必要な備品を購入
	子育てにやさしく快適な施設整備事業 公共施設にベビーキープやベビーシート、授乳室などを整備、園庭を解放している公立保育所とフラワーガーデンに遊具を設置、老朽化した街区公園の遊具を更新
道路の整備	地域安心安全道づくり事業 市と地域で意見交換や現地調査を行い、緊急度が高い箇所を迅速に整備
学校教育の充実	マイスター出張授業プロジェクト事業 各界の専門家による出張授業を実施、授業をパソコンで再生した講習、情報発信
魅力ある都市づくりの推進	北條ポケットパーク新設事業 小田原駅前の証券会社跡地を「潤いと安らぎ」の歩行者滞留スペースとして整備

おだわらインフォメーション

Odawara Information

Odawara Information

鉄道利用が便利に

PASMO

サービス開始！

都市政策課 331267

JRを除く市内の鉄道各社で、あらかじめ入金して繰り返し使用できるICカード乗車券、「PASMO」が3月18日に導入されました。

すでにJR東日本で導入されているSuicaと相互利用もできるので、PASMOでJR東日本各線も利用できますし、逆にSuicaでも各線が利用できるようになりました。

なお、このカードは、バスの乗車券としても使えますが、市内では、導入時期が未定の一部の会社を除き、平成19年度中に順次導入される予定です。詳しくは駅などへお問い合わせください。

【おわびと訂正】

広報おだわらいふ3月15日号のお知らせコーナーの「プロ野球（イースタンリーグ）公式戦」の記事中、前売り入場券の販売場所は「いずみ」ではなく、正しくは「スポーツ会館」です。おわびして訂正いたします。

飼い主の責任です 狂犬病の予防注射

年1回の狂犬病予防注射は、法律で義務づけられています。
お近くの会場へお越しください。

注射は県獣医師会小田原支部会員の獣医師が担当します。

犬を飼い始めたかたの新規登録もしています。

●環境保護課 ☎ 33 1484

犬を飼うときの心掛け

犬は愛情と責任を持って飼いま
しょう。ほかの人に迷惑や危害を及
ぼさないよう、心配りと正しいしつ
けが必要です。

また、犬のふんの始末も、飼い主の責
任です。きちんと処理をしましょう。

① 1頭ごとに登録が必要です。鑑札の交
付を受けてください。

② 年に1回(4・6月) 狂犬病予防注射
を受けてください。

※鑑札と狂犬病予防注射済票は、必ず愛犬
の首輪につけましょう。鑑札・済票の
交付は環境保護課で。左表の注射会場
でも、注射・交付をしています。開業
獣医で代行してもらえする場合もあります。

③ 引越をしたときは、鑑札と愛犬手
帳を持って市内の場合は環境保護課へ、
市外の場合は転出先の市町村へ届け
出をしてください。

④ 犬を譲るときには、鑑札と愛犬手帳も
新しい飼い主へ渡してください。また、
新しい飼い主が、住んでいる市町村へ
届け出をしてください。

⑤ 犬がいなくなってしまったときは、県
動物保護センター(☎04635834
11)、保健福祉事務所(代表☎328
000)と、最寄りの警察、環境保護

課へ連絡してください。

⑥ 犬が亡くなったときは、環境保護
課へ鑑札を返し、登録の抹消届
を出してください。また、火葬を
希望されるかたは、環境事業セン
ター(小動物担当☎347366)
へ連絡してください。

●料金(犬1頭につき)

単位:円

新規登録料	継続	新規
—	3,000	—
注射済票	—	—
交付手数料	550	—
県獣医師会 集合注射料金	2,950	—
合計	3,500	6,500

日程	時間	会場
4月11日(水)	9:30~10:20	西栢山児童遊園地
	10:50~11:30	西大友公民館
	13:30~14:20	早川河原公園
4月12日(木)	9:30~10:10	東町弘経寺
	10:30~11:20	中町熊野神社
	13:30~13:50	総世寺駐車場
	14:10~14:30	北ノ窪公民館
4月13日(金)	9:30~10:30	橘支所
	10:50~11:20	前羽福祉館
	13:30~14:30	豊川支所
4月17日(火)	9:30~10:00	江之浦公民館
	10:40~11:30	板橋公園
	13:30~14:30	千代三島神社
4月18日(水)	9:30~10:30	小八幡公民館
	10:50~11:30	酒匂小学校正門前
	13:30~14:10	蓮正寺住宅集会所前
4月19日(木)	9:30~10:00	元市国府津プール
	10:30~11:10	田島津島神社
	13:30~14:30	中村原埋立処分場
4月20日(金)	9:30~10:20	飯泉公民館
	10:50~11:20	桑原公民館
	13:30~14:30	久野宮本公民館
4月24日(火)	9:30~ 9:40	米神神社
	10:00~10:10	石橋公民館
	10:50~11:20	農協大窪支店
	13:30~14:30	酒匂神社
4月25日(水)	9:30~10:20	富水西北公民館
	10:50~11:30	穴部公民館
	13:20~13:40	欠ノ上公民館
	14:10~14:30	多古公民館
4月26日(木)	9:30~10:30	橘団地公民館
	10:50~11:20	小竹脇ゲートボール場
	13:30~14:20	荻窪公民館
4月27日(金)	9:30~10:00	中曽根公民館
	10:20~11:20	飯田岡飯田神社
	13:30~14:30	農協曾我支店
5月10日(木)	9:40~10:30	矢作春光院観音堂
	11:00~11:30	今井公民館
	13:30~14:30	曾比公民館
5月11日(金)	9:30~10:30	南鴨宮新田公園
	11:00~11:30	井細田八幡神社
	13:30~14:10	農協早川柑橘選果場
5月15日(火)	9:30~10:30	国府津菅原神社
	11:00~11:30	農協下府中支店
	13:30~13:50	府川公民館
	14:10~14:30	久所公民館
5月16日(水)	9:20~ 9:40	寺町公民館
	10:00~10:40	栄町大乘寺
	11:00~11:30	浜町北條稲荷
	13:30~14:30	久野区民会館
5月17日(木)	9:30~ 9:50	根府川公民館
	10:40~11:20	県立青少年会館跡地
	13:30~14:30	尊徳記念館駐車場
5月18日(金)	9:30~10:30	小田原文学館駐車場
	11:00~11:20	入生田長興山入口
	13:30~14:30	梅の里センター駐車場

※各会場とも、開始間際は大変混雑します。雨天でも行いますが、
荒天の場合は延期することがあります。

※日程は、ホームページからもご覧になれます。

※逃走したり、押さえられずに注射ができないことがありますので、
必ず犬を押さえられるかたが会場に来てください。

自らの手でまちづくり！ 自らの力で課題解決！

市民活動応援補助金とは

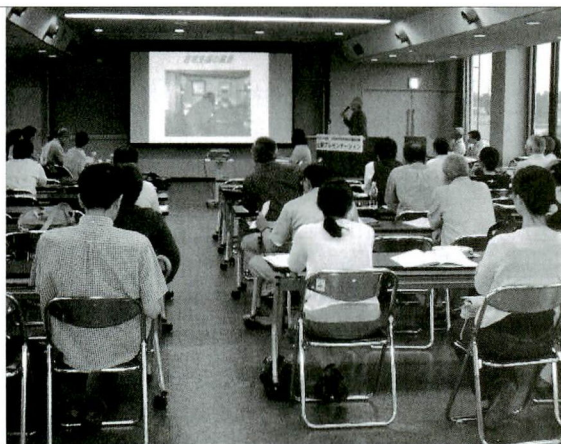
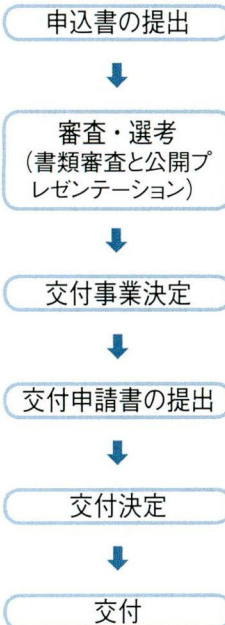
市民の皆さんが自発的に行う多彩な市民活動を資金面で応援する制度です。

これまで環境、福祉、歴史、文化、スポーツ、地域安全などさまざまな分野の団体が、この制度を活用して「活動を充実させるために、機材、備品を購入したい」あるいは、「団体の活動を広く知ってもらおう講演会などイベントの効果を上げるために、専門家を招きたい」といった活動を行ってきました。

市では、多くのかたにこの制度を活用していただき、市民活動の充実を図っていただきたいと考えています。

そして、こうした市民の皆さんの活動と協働で、だれもが「住んで良かった！」と思えるまちづくりに取り組んでいきます。

補助金交付までの流れ



申請できる団体

市内を中心として市民活動（営利を目的とせず、市民の自主的で公益的な活動）を行い、今後も継続する見込みのある3人以上の市民（在勤・在学・在活動を含む）で構成する団体

対象となる事業と補助金額

スタートアップコース

団体が新たに行う事業。10万円を上限に、事業内容を審査して予算の範囲内で補助金額を決定します。同じ事業は1回限りの補助です。

ステップアップコース

団体が活動の発展を目的に次の一歩として新たに行う事業。対象事業費の1/2または30万円のいずれか低いほうを上限に、事業内容を審査して予算の範囲内で補助金額を決定します。同じ事業には3回まで交付を受けられますが、年度ごとに必要書類を提出し審査を受ける必要があります。

申し込み方法

4月2日（月）～5月14日（月）までに、申請書類に必要事項を書いて、地域政策課に提出してください。

詳しくは地域政策課、おだわら市民活動サポートセンターなど、市の窓口で配る「平成19年度市民活動応援補助金 募集の

お知らせ」をご覧ください。
また、市のホームページでも見られます。

平成18年度に補助金を活用して実施した事業

<スタートアップコース>

No.	事業名
1	環境美化推進事業
2	外国人旅行者から感謝される小田原市の確立
3	2006Bit Guide 国府津ツアー事業
4	参加型シミュレーション防災訓練の実施
5	たんぼの学校
6	視覚障がい者用デジタル・ポータブルレコーダーの導入
7	小船祭囃子保存
8	「しもそが大好き」大作戦

<ステップアップコース>

No.	事業名
1	甲冑仕舞（創作仕舞）の上演
2	市民自給の会
3	森づくり事業
4	地球温暖化防止活動
5	「木くす&キッズワークショップ」開催及び普及広報事業
6	身体障害者及び高齢者に対するパソコン操作の支援事業
7	盲人マラソン伴走者育成研修会
8	子ども能伝承普及事業「九頭龍クラブ」

平成18年度交付事業の報告会と平成19年度市民活動応援補助金説明会を開催

昨年度にこの制度を活用した団体が、事業の内容を発表します。報告会の後、今年度の応募説明会を開きます。

市民活動のヒントがたくさんあります。

日時 4月25日（水）13時～
場所 生涯学習センターけやき

応募相談と集中相談日

応募に関する相談は、地域政策課と市民活動サポートセンターで随時受け付けます。

左記の日程は「応募手続き集中相談日」として、市職員による相談コーナーを設置します。

● 4月25日（水）16時～17時
生涯学習センターけやき

● 4月26日（木）・5月8日（火）
9時～17時 地域政策課
9時～19時

サポートセンター
5月7日（月）9時～17時
地域政策課

※集中相談日は混雑が予想されます。事前に地域政策課までご連絡くださることをお勧めします。

第14回

少年少女 オーシャンクルーズ



小田原の未来を担う子どもたちの夢と希望を乗せ、今年も出航します。
大自然とふれあい、ステキな体験と楽しい思い出を作りましょう！
「にっぽん丸」に乗る本研修だけでなく、
事前・事後の研修、ソーデーマーチへの参加など
1年を通して活動しますので、多くの出会いとたくさんの友達が作れます！
今年の本研修は、8月22日(水)～24日(金)です。

申込 青少年課 ☎33-1731

募 集

★ シンドバッド 第14期生 ★



1年を通じた活動に積極的に参加できるシンドバッドを募集します。

対象 市内に在住・在学の小学5・6年生524人

申込 4月18日(水)から5月10日(木)までに、はがき(消印有効)か市ホームページの電子申請で。

※募集要項や申し込みはがきは、4月中旬に各小学校で配ります。

★ サポーター ★



1年を通してまじめに取り組んでくれる、シンドバッド(小学生)のまとめ役のサポーターを募集します。

対象 市内に在住・在学の高校生25人程度

申込 4月2日(月)～13日(金)(土・日曜を除く)の8:30～17:00に、電話か市ホームページで。

※4月21日(土)に面接あり。

★ サムライシンドバッド ★



5月3日(祝)の「北條五代祭り」に、三代北條氏康隊として参加するサムライシンドバッドを募集します。

対象 市内に在住・在学の中・高校生25人・先着順

申込 4月2日(月)から、電話で。

団長とのふれあいタイム

団長である小澤市長と名刺を交換したり、Tシャツにサインを書いてもらったりしました。



星座教室

船内のあかりがすべて消され、閉じていた目を開け見上げると、輝く星座たちが。「夏のた三三角形」がはっきりと見えた瞬間は、歓声が揚がりました。



船上運動会(ウォーターパニック)

たらいから洗面器で水をくみ、みんなで頭上を通して後方へ渡していきます。真夏の暑い日、みんなでびしょびしょになりながら、大いに盛り上がりました。



ほかにも、「船内探検ラリー」「ロープワーク」など盛りだくさん

いよいよ市民の夢が形に

城下町ホールは実施設計が完了し、平成21年度の開館に向けて、本年度、建設工事に着手します。詳しい内容は、広報小田原5月1日号でお知らせしますが、今回は、設計者である山本理顕さんに、城下町ホールについて語っていただきました。

☎ 文化交流課 ☎ 33-1705

運営のあり方の検討を開始

<管理運営検討委員会>

(仮称) 城下町ホールは、鑑賞の場、創造の場、交流の場として期待されています。

このため、さまざまな立場からホール運営のあり方を検討していただくため、管理運営検討委員会が2月28日に発足し、市民代表や専門家など11人の委員が検討を開始しました。

ご意見をはがきやEメールでお寄せください。

〒250-8555

小田原市文化交流課

Eメール

hall@city.odawara.
kanagawa.jp

【これまでの主な経緯】

昭和37年度

市民会館大ホール開館

平成2年度～

小田原市民会館整備検討委員会

平成12年度～

(仮称) 城下町ホール建設市民委員会

平成17年度

基本構想策定・市民説明会開催

意見聴取、設計者選考

平成18年度

基本設計の市民説明会開催、意見聴取

設計完了、管理運営検討委員会開始

【施設概要】

所在地 小田原市本町一丁目

構造 鉄筋コンクリート造

一部鉄骨造

地上4階 地下1階

高さ 約31m(フライタワー部分)

約20m(お堀端通り沿い)



■ **すぐれた音響性能を備えたホール**
内部の曲面壁は音響面で非常に有効で、そのうえすぐれた耐震性能を持っています。日本最高の音響設計の専門家とホールの形状などを検討し、

■ **さまざまな使える20万市民のホール**
城下町ホールは、音楽だけでなく、演劇にも、舞踊にも、講演会にも、さまざまな催しに使え

■ **魅力的なホール空間**
客席は間隔を十分に取、ゆつたりと鑑賞することができ、演奏者との一体感やコンサートホールの醍醐味を体感できる魅力的な空間となります。

■ **お堀端通りにふさわしい外観**
小田原城とお堀端通りの景観は極めて魅力的で、私は、銅門やお堀の周辺を季節ごとに何度も歩き、城下町ホールが作り出すお堀端通りの景観を考え続けました。

■ **市民の皆さんの発表会での利用はもちろん、プロのアーティストのコンサートも十分楽しめます。**



山本理顕さん

市民の皆さんが、長い間待ち望んできた、城下町ホールの設計者に選ばれて以来、全力を傾け、設計に取り組んできました。

ます。市民の鑑賞の場、創造の場、交流の場でもあり、小田原ににぎわいをもたらします。

建築は、建物が実際に立ち上がる日まで、なかなかイメージしにくいものですが、市民の皆さんが描いている夢を実現し、100年後も新鮮さを失わず、輝きを放つ建物になりますので、期待してください。

Zoom TV

アイス工房が10周年

☎ 農政課 ☎ 33-1494



農業に携わるかたとの交流や後継者を育てようと、市も協力して平成9年に設立された農事組合法人小田原牧場アイス工房。地元で生産された牛乳からジェラートを生産・販売しながら今年で10周年。そこで、感謝価格でアイスを販売するなどの記念イベントを開きます。イベントの内容など、詳しくはアイス工房(☎426632)へ直接お問い合わせください。

日時 4月7日(土)～8日(日)
10時30分～16時
場所 小田原牧場アイス工房

今月の
笑顔彦

元氣あふれる人たちの笑顔は、
見ている人たちにも
力を与えてくれるもの。
このコーナーでは、
みんなが元氣になるように、
すてきな笑顔をお届けします。

「いつもいっしょ」をキャッチフレーズに、ふだんは身近な地域情報、そしていざというときには防災情報を提供する「FMおだわら」

開局したばかりの放送局を引つ張る二人に、今後の意気込みを伺いました。

「皆さんの会話のきっかけになるとうれいすよね。だから、地元の情報はこの放送を聞けば大丈夫と言われるような放送を作りたい」と吉兵衛さん。

局長は、「リスナーが参加できる放送も用意しています。どんな小さな情報でもしっかりと放送したいので、皆さんも情報をどんどん寄せてほしいですね」と続きます。

「一押し番組は」と尋ねると「小田原ゆかりの声優郷田ほづみさんの小田原を舞台にしたラジオドラマや、学校、自治会情報を取り上げる番組。地元の手ミュージシャンも出演しますし、もちろん、天気予報や交通情報も小田原をピンポイントに



FMおだわら（78.7MHz）を担う二人
「まずは聞いてほしい」

していますよ」にとり。

急ピッチで進んだ開局に向けた取り組みは一段落したものの、放送局の運営はこれからが本番。

「準備期間が短かったからこの程度と言われたくない。いい放送局になるよう、努力するの

る番組を作つていかないとね」と笑顔の中にもこれからを見据える力強い視線がのぞきました。

C クローズアップ **Up**
注目の情報をお届け!

新たに市民になったかたへ

新幹線通勤費の一部を助成

定住促進モデル事業・おだわらルネッサンス推進本部事業

問企画政策課 ☎33-1400

人が増えればまちは活気づきます。そこで、市では、人口増加策の一つとして、働く世代の転入を進めるため、新たに小田原市民になり、新幹線を利用して通勤するかたに新幹線の定期代の一部を補助しています。

对象

新たに市に転入し、小田原駅から東京駅、品川駅、静岡駅の区間を一年以上継続して新幹線定期で通勤するかた

新幹線定期代の自己負担額の
1/2(年上限5万円で3年
間が限度)

申込 転入後60日以内に

※詳しくは、お問い合わせください。









暮らしに自然とやすらぎを、日々の活動にゆとりを。

小田原 暮らしに 住む！

新幹線通勤に年間最大5万円の補助！



■新幹線（上野）の乗車料金を国が負担！

- 東京・小田原間の乗車料金を国が負担！
- 小田原・山梨間の乗車料金を国が負担！
- 小田原・山梨間の乗車料金を国が負担！
- 小田原・山梨間の乗車料金を国が負担！

通勤・通学に
新幹線を利用
する方
に
最大
5万円
の
補助
が
受
取
れ
る
！

利用区間	所要時間	補助額
小田原～東京	36分	最大5万円
小田原～山梨	28分	最大5万円
小田原～山梨	45分	最大5万円

お問い合わせ先：小田原市観光課 電話：0426-33-1400

小田原市観光課 電話：0426-33-1400

300円

この事業の対象者は、小田原駅まで徒歩6分の域内臨海鉄道小田原駅までご利用いただけます。

1日駐車料金300円

駐車料金は小田原市に200円、小田原市に100円（小田原市）
（小田原市）小田原市観光課 電話：0426-33-1400

この事業は、小田原市長のマニフェスト「投資環境実現計画」により実現したものです。











小田原市



連載

学校自慢!

このコーナーでは、小・中学校でのユニークな取り組みを紹介します。子どもたちの生き生きとした表情を見ると、小田原の未来も安心!という気持ちになりますね。

☎教育政策課 ☎33-1671

今月号は…

鴨宮中学校

(生徒数:581人)



心と心をつなぐ 鴨中ボランティア

大規模商業施設が多く造られ、都市化が進み住環境も急速に変化してきている地域ですが、まだまだ多くの田園に囲まれた鴨宮中学校。

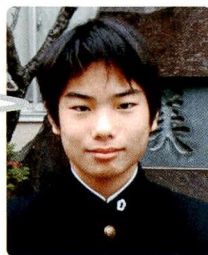
平成4年から15年間続けて、アルミ缶を生徒の家庭や地域から集めるアルミ缶回収活動を生徒会が中心に行っています。特に昨年度は、夏休み中にもアルミ缶回収を行いました。そこから得た収益金は、東南アジアのラオスで恵まれない同世代の子どものための学費として支援をしています。約3万円で、一人の生徒が3年間就学できるのです。

また、毎週木曜日には、通学時に、通学路に落ちているゴミやアルミ缶、スチール缶などを拾う通学路清掃運動を始めました。地域のボランティア活動にも積極的に参加し、学校だけではなく地域全体の美化活動に取り組んでいます。

「真 善 美」この言葉は、校長室の額に入れられた校訓です。昭和30年に当時の校長先生と生徒たちが修学旅行先でノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士の家を訪れ、いただいたものです。「真:正直 善:人のため 美:思いやり、やさしさ」を表し、本校の教育の基本となっています。

ボランティアを通して地域とふれあい、校訓の一つである「善:人のため」に尽くす心を育てています。

アルミ缶回収、それは僕たち鴨中生の誇りです。月に一度、アルミ缶を全校生徒から集め、それをお金に換えてラオスの子どもが学校に通うことを援助しています。地域の関心も高く、アルミ缶を学校まで運んでくださるかたもいます。これからも地域、そして世界と心をつないでいきたいです。



あかまつ かずき
赤松 和樹さん
(3年生)

鴨中では、ボランティア活動として通学路清掃を行っています。1月には、保護者に協力いただき、全校で地域清掃を行いました。その結果、たくさんのゴミが集まり、道路などがとてもきれいになりました。地域にお住まいのお年寄りから、「お疲れさま」と声もかけられました。これからも地域のかたから感謝されるボランティア活動を続けていきたいです。



はら まゆ
原 真優さん
(3年生)



おだわら

花通信

さまざまな花に彩られ、四季折々の表情を見せるおだわら。これから毎月、花の名所を紹介します。

その1

小田原 フラワーガーデン

☎フラワーガーデン ☎34-2814

平成7年に開園した花とみどりのオアシス、フラワーガーデン。熱帯の花や果樹が楽しめるトロピカルドーム(有料)に咲くヒスイカズラ(3~5月)は必見です。

また、周辺道路には、開園に当たり、市民の皆さんからメモリアルロード事業として募集植栽した、約80本の染井吉野(4月上旬)が約400mにわたり見事に咲き誇り、まるで「桜のトンネル」を思わせる桜の名所になっています。

その後も「あれ、もう桜は終わったのに…?」というころに葉をつけたまま咲き出す「八重桜(4月中旬~5月上旬)」や「御衣黄(4月下旬)」と桜の花のバトンリレーが続きます。

そして、5月の「バラ」へと花リレーが続きます。※気象条件などでご覧いただけない場合もあります。

